



Koriyama Robot Lab 2019

- 開催期間：令和元年 10月28日(月)～11月8日(金)
- 開催場所：『ものづくりインキュベーションセンター』
(郡山市田村町徳定字中河原1-1 日本大学工学部敷地内)
- 主催：(公財) 郡山地域テクノポリス推進機構、
郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議
- 共催：日本大学工学部、郡山地域テクノポリス市町村協議会、郡山地域テクノポリス推進協議会
- 後援：福島県、圏域内各市町村(郡山市、須賀川市、石川町、鏡石町、玉川村、三春町)
- 協力：(株) 安川電機、ファナック(株)、THK(株)、ヤマハ発動機(株)、マサモト(株)、
高津伝動精機(株)、オリックス・レンテック(株)、シーシーエス(株)
- 内容：展示1 食品メーカー向け展示
展示2 製造メーカー全般向け展示
今回は、展示2 としてもものづくりを行う製造事業者全般向けロボットの内容についてご案内します。

《期間》 令和元年 11月5日(火)～11月8日(金)

①安川電機

6軸の垂直多関節ロボット2台を展示します。MOTOMAN-GP-8は、クラス最高レベルの動作速度を実現し、生産性向上に貢献するロボットです。また、MOTOMAN-GP-12は、中空アーム構造によりセンサケーブルやエア配管をアーム内に収納することですっきりとした機装が可能です。

②オリックス・レンテック及びプログレス・テクノロジーズ

協働ロボットによる基板の実装システムを展示します。協働ロボットは一般的な産業用ロボットと異なり、人の隣で作業が行え、また、ムラがなく、安定した品質で実装を行うロボットです。

③高津伝動精機

無人搬送車であるS-CART100を展示します。この搬送ロボットは、床に磁気テープなどのガイド必要なしで搬送が可能であることから、レイアウトなどを変更せずに運用することが可能な搬送ロボットです。

④シーシーエス

DIP はんだ検査はもちろん、部品違い、色違い検査、キズ検査、文字検査、ネジの有無、各種バーコード読み取りなど様々な検査に対応した検査装置です。

⑤THK

「OMNIedge」という予兆検知システムを展示。LMガイドに専用のセンサーを取り付け、振動データとアルゴリズムにより、LMガイドの損傷や潤滑状況などを数値化することで、部品の交換時期を事前に予測することができます。



安川電機のMOTOMAN-GP-8



高津伝動精機のS-CART100

健康医療福祉産業創生フォーラムボードメンバー会議 報告

- 日時：令和元年9月20日(金) 13:30～15:00
- 会場：郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
- 出席者：9名(事務局含む)
- 内容：健康医療福祉産業創生フォーラムのボードメンバー



会議を開催しました。会議では、各ボードメンバーから、医療や健康福祉などの分野に係る活動報告を行うとともに、今年度開催予定の第7回健康医療福祉産業創生フォーラムの内容について意見交換を行いました。今年度のフォーラムは、「医工連携」をテーマに、医工連携分野から見た医療機器産業の現状や最新の動向について、有識者による講演会やパネルディスカッションを開催することで決定しました。

第7回健康医療福祉産業創生フォーラム 開催案内

- 日時：令和元年11月20日(水) 13:30～16:00
- 会場：日本大学工学部次世代工学技術研究センター
- テーマ：(仮)「医工連携 ものづくり企業による医療機器分野への参入について」
- 内容：医工連携をテーマとした講演会及びパネルディスカッション



昨年の様子

ものづくりインキュベーションセンター 入居者審査委員会 開催報告

令和元年8月30日(金)に、当機構入居者審査委員会を開催し、延長審査を行い認められました。

【延長】

支援室No.	企業名・代表者	研究開発内容	入居期間
9	株式会社国際情報ネット 代表取締役社長 尾形 廣秋	ロボット及びシステムの研究開発	令和元年10月1日～令和2年9月30日



齋藤審査委員長挨拶



プレゼンの様子



審査の様子

Connect 2019 in Koriyama, with UDC 案内



ITやオープンデータを活用して、自分たちの暮らす街を良くするアプリを自分たちで作ろうというイベント「ハッカソン」を開催します。「UDC(アーバン・データ・チャレンジ)2019」への作品応募をめざし、全国ファイナルへの予選会も兼ねておりますので、多くの皆様の参加をお待ちしております。

記

- 日時：令和元年11月9日(土)～10日(日)1泊2日
- 場所：郡山市青少年会館(郡山市大槻町字漆棒82)
- 募集人員：80名程度(チームまたは個人)
- 参加費用：一般3,000円/学生2,000円(施設利用費、食費等)
- 参加対象：一般、学生(高校生以上)、街おこし団体など
- 主催：郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
- 共催：郡山市/(公財)郡山地域テクノポリス推進機構
- 運営・協力(予定)：エフスタ!!/ふくしまIoTビジネス共創ラボ/国際アート&デザイン大学校/WiZ国際情報工科自動車大学校/日本マイクロソフト(株)/アーバンデータチャレンジ2019実行委員会
- 申込方法：所定の申込用紙にて、FAXまたはHPよりお申し込みください。

第8回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア

REIF ふくしま2019

福島からはじまるビジネスマッチング!



「再生可能エネルギー先駆けの地ふくしま」の実現を目指して、REIFふくしま2019(第8回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア2019)が開催されます。当機構も出展しますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

記

- 日時：令和元年10月30日(水)・31日(木) 10:00～17:00
- 会場：ビッグパレットふくしま
- 出展者：212企業・団体
- 主催：福島県・(公財)福島県産業振興センター
- 問合せ：(公財)郡山地域テクノポリス推進機構
TEL: 024-947-4400
FAX: 024-947-4475
E-mail: techno@nm.net6.or.jp

今月のコラム

(技術コーディネーター 佐藤正弘)



お世話になっております。技術コーディネーターとして、4年目となりました。感じる事を独断と偏見でコメントします。

支援活動でよく出てくる『産学連携について』を一言で言うと『言うは易し、…成り難し』です。『産学』での考え方・思いにすき間があるためであり、『学』での評価基準と、『産』での製造物の売上損益評価する違いがあります。

特に研究成果のシーズを製品化する連携では、この差を埋めるのは、『企画・技術部門の機能』と思っています。

この機能が十分備わっていない企業が新分野へ第一歩を踏み出すために、支援団体が担うべき機能と思っています。具体的には、製品企画書素案(知財、遵守法令や規格などの情報)を作り、提示することで、忙しい経営者の判断材料となれば良いと考えています。

今回は、商品化で課題となる『産学連携について』を予定しています。

